



令和7年3月15日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山
〒640-8325 和歌山市新生町2-12 新南交流館2F

和歌山保護司会新年会

令和7年1月14日、恒例の和歌山保護司会新年会が各部会総会終了後、アバローム紀の国「鳳凰の間」に於いて、御来賓23名・保護司78名の総勢101名の方々のご参加をいただき、新年を寿ぎ新年会を開催する事が出来ました。

堂坂総務部会長の司会・進行のもと、小川保護司会会長のあいさつに続き、佐藤副市長・園内市議会副議長・豊島観察所長の皆様から来賓祝辞をいただき、阿形市教育長の乾杯の音頭御発声のあと、和歌山市の幹部職員や更生保護団体の皆様方と、和やかに親睦を深め宴たけなわのなか、定刻の午後7時30分となり、櫻畑副会長の閉会のあいさつで幕を閉じる事となりました。

昨年、保護司会では更生保護制度施行75周年を記念する節目の年となり、和歌山城大ホールにて記念大会が開催されましたが、今後、80周年に向けて更生保護団体が目標としています「犯罪や非行のない 安全で安心できる 明るい地域社会づくり」の実現を目指して皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第61号

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
TEL：073-488-1203
FAX：073-425-1301
Email：
saposen2012820w@gmail.com
H.P：
<http://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/>



各部会総会

令和7年1月14日にアバローム紀の国で実施しました。各専門部会が4つの会場に別れて各部長の司会進行で開会されました。令和6年度の事業進行状況や、感想・反省点、次年度への課題等について、熱心に話し合われました。



総務部



犯罪予防活動部



研修部



協力組織部

協力雇用主会会長ご挨拶

協力雇用主会 会長

西平 都紀子



この度、協力雇用主会会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

協力雇用主の役割とは

・犯罪や非行歴のある人の事情を理解雇用する。

・就労機会を提供する。

・社会生活が送れるよう指導や助言をする。

といったことがあります。

私自身、社会復帰支援と関わり始めて約20年が経過しますが、多くの人の雇用を推進してまいりました。大切なことは雇用をすることだけではなく、雇用した人たちに寄り添い、すべてを受け入れ、本気で人生を変えようお手伝いを続けていくことだと思っています。そしてその方々が、次なる人たちに繋いでいただけることを願ってやみません。

そういった思いを雇用主様に伝えるべく、保護司会の皆様にご指導を仰ぎながら、再犯防止に努められるよう邁進していく所存です。どうか今後ともよろしくお願いいたします。



4者合同懇談会

令和7年1月29日に合同庁舎研修会議室にて、和歌山保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会・BBS会の4者が初の懇談会を開催しました。各団体の活動報告、今後の連携・協力について話し合われました。



和歌山保護司会合同研修会

令和7年2月13日、和歌山地方合同庁舎にて102名の方々が参加され、和歌山保護司会合同研修会が開催されました。研修会のテーマは「大津の事件を二度と起こさない為に」。鐸木統括保護観察官の挨拶で大津の事件の説明がありました。新聞報道以外の詳細について保護観察所では把握できていないということでした。

参加者は9名ほどの各グループに分かれ、決められた討議テーマをグループ討議しました。大津の事件を今後防ぐにはどうしたらいいか？という問いに、私たち保護司が自分を守るには、複数制が安心・安全で有効ではないかと、各グループ発表でも同じような意見が多くありました。また異性を担当した時の経験談や、環境調整、初めて対象者をもった時も男女での複数制が理想だという意見がありました。

他支部の方とは普段交流が少なく、顔を合わせる程度でしたが、少人数で話しがしやすく、共にひざを突き合わせ、終了時間が過ぎても熱心に話し合っていました。経験年数は違えど皆さん思いは一緒で、同じ保護司として対象者に対する思いや悩みなど、他では相談したり話せない内容が多いため、共に分かち合える仲間がいると再認識出来た有意義な研修会でした。



第3期地域別定例研修

テーマ：刑法等の一部改正について
(地域援助を中心として、仮解除の権限変更も含む)

令和5年12月に再犯防止を目的として、保護観察所の刑執行終了者に対する援助や更生保護に関する地域援助の取り組みが出来るよう法改正されました。身近に居住している元対象者の相談事などがあれば関係機関と連携できるよう保護観察所を通じて橋渡しできるよう私たち保護司も関わりをもって、犯罪・非行防止や立ち直り支援を行います。また仮解除とは保護観察付執行猶予者に対して保護観察の成績良好の場合、保護観察所所長の権限で保護観察の継続が必要ないと認められた時に仮解除の措置が取られる。



東
西
南
北



退任保護司

令和6年11月18日に退任された保護司の方におかれましては、長い間お世話になり、ありがとうございます。お疲れさまでした。



氏名	地区	委嘱年月日	従事年数
岩橋 利茂	西支部	平成14年11月9日	22年
森 晴彦	西支部	平成30年11月9日	6年
集田 眞樹	南支部	平成24年11月9日	12年
杉谷 睦生	南支部	平成18年11月9日	18年
吉田 友之	南支部	平成22年11月9日	14年
土橋 廣藏	北支部	平成18年11月9日	18年
森 泰	北支部	平成22年11月9日	14年

新任保護司

<p>今まで自分が生きてきた人生経験を活かし、柔軟な心を忘れず、人に寄り添う姿勢を大事にしたいと思います。どうかよろしくお願ひします。</p>	 <p>田中 いずみ 東支部 総務部</p>	<p>新任保護司の委嘱を受け、私自身少し不安なことがあります。が、お役に立てれるよう明るい社会を願ひ、活動に取り組んでいきます。</p>	 <p>木下 昌幸 南支部 犯罪予防活動部</p>	<p>ひとりの人として、保護司として健全な社会の一員へと導くために、寄り添い、受け止めることを大切に指導、支援に努めて参ります。</p>	 <p>府中 恵理 南支部 総務部</p>
---	--	--	---	--	---

社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式



32回目となった作文コンテストの表彰式が合同庁舎の共用会議室で行われました。

ご家族の見守る中、表彰を受ける子どもさん達は、取材のカメラを向けられ少し緊張した面持ちで表彰状を受け取っていましたが、表彰後の記念撮影では笑顔もあり和やかに終了しました。

作文コンテストは一次審査・二次審査・県審査・全国審査と順に上がっていきますが、和歌山県は毎年、何らかの全国表彰に選ばれています。今年は何度山中学校、杉浦逢未さんの「社会を平等に」が全国日本更生保護協会理事賞を受賞されました。

また、和歌山県で選ばれた作品は和歌山新報へ随時掲載され、最優秀賞作品は1月10日WBS和歌山放送ラジオ「しそまるの全開！金曜日」で本人の朗読が放送されました。

次回も“社会を明るくする運動”についてたくさんのご応募いただき晴れやかな表彰式に臨席できることを楽しみにしています。



各学校に届けられた作文記念品

西支部県外研修



令和7年2月7日に県外研修として、西支部担当の酒谷観察官にもご参加いただき19名で自然豊かな播磨社会復帰促進センターに行ってきました。官民協働施設である当センターは、施設の運営業務の一部を民間委託しています。収容対象に特化ユニットとして精神・知的障害の受刑者がいます。コミュニケーションの教育としてドローンを活用するなど、民間のアイデアが大きく取り入れられていることを聞き、社会復帰に向けた取り組みにも多様性を感じました。

この日は寒かったですがバスの中では終始、賑やかで楽しい交流ができました。途中、明石海峡大橋の橋の一部を歩く怖い体験もでき有意義な研修となりました。



新任さんいらっしゃい

初めてサポートセンターにお邪魔することになって、少し緊張しながら参加しました。実際参加してみると、少人数での座談会という形で、和やかな雰囲気の中でしたので、大人数の中では質問しづらいとか、こんなことを聞いてもいいのかなと思うようなことも気兼ねなく質問させていただくことができました。

どんなささいな質問にも、先輩の先生方が経験を交えながら具体的にお話ししてくださるので、とてもわかりやすく参考になると思うことがたくさんありました。

いろいろな話を聞いている中で、経験を通して得られるものがたくさんあるんだなと感じました。まだまだ経験が浅く、不安なこともあります。保護司として活動していく中で少しずつでも学んでいければと思います。

北支部 西本 麻由美



和歌山地方検察庁との座談会

令和7年1月16日 検察庁会議室に於いて、瀧澤検事正を含む8名の検察官と後藤企画調整課長と保護司会会長・副会長が参加し、座談会が開催されました。

瀧澤検事正からの挨拶があり参加者一同の自己紹介の後、小南検察事務官から「検察庁の役割」について詳しくご説明があり、その後、事前に依頼した質問事項の「司法面接」について、石水検事から児童が犯罪の被害者や目撃者となった際、児童への何度も聞き取りを行い心の傷を大きくする二次被害を無くすための「司法面接の取り組み」についてご説明をいただき、引き続き、後藤企画調整課長が保護司会から「持続可能な保護司制度活動に向けた検討会」の説明と「第二次和歌山県再犯防止推進計画」の進捗状況について説明が行われました。

その後、座談会に移り長年保護司として活動する中での経験談や実例等についてのお話をし、今後の「再犯防止について」の意見交換が行われました。

閉会にあたり、公務のため欠席の豊島観察所長からの閉式の辞を後藤企画調整課長が代読し、最後に、瀧澤検事正から『今後も保護司会との座談会を継続して行いましょう』と、お言葉を頂戴し有意義な座談会を閉じました。

お知らせ

和歌山保護司会総会

令和7年5月13日(火)

中央コミュニケーションセンター

・総会 13時半

*懇親会は開催いたしません

*詳細は送付するハガキでご確認ください

サポートセンター和歌山 俳句教室作品

稷かな大社詣での猛吹雪
鱸酒の芯まで沁みて夜半かな
節分会鬼の面見て笑ふ孫
猛吹雪瞬時に枝が白くなり
老いの手で悴む子の手つみ込む
樂しみは竿に託して吊るし柿
梅一輪快気祝いの如しなり
うららかなやけんけん跳びの三歳児
冬千鴻しばし夕日に染まりをり
竹林も獄舎もなべて雪の降る
春浅し小さき後悔背負ひけり

選者 「森 幸子」

森 幸子
浅川 美香
乾 三千代
大竹 有美
乙井 八重子
小西 健之
坂本 記美子
坂本 漸
杉谷 睦生
得津 壽美代
中村 咲子



新任・OB・OGの皆さん
日時：毎月第3水曜日 10時～
対象：更生保護関係者

各支部総会及び 第1期地域別定例研修

東支部	令和7年4月25日(金)
西支部	令和7年4月21日(月)
南支部	令和7年4月30日(水)
北支部	令和7年4月17日(木)

*詳細は各支部の案内等でご確認ください

*所属支部の研修日に都合がつかず出席できない方は、事前に支部長に申し出て他支部の地域別研修に参加をお願いします

編集後記

本年「更生保護サポートセンター和歌山」は「新南交流館」に移転。日当たりの良い環境で活動を行っています。

本年7月に予定されている社明月間「社会を明るくする運動」も75回の節目を迎えます。それぞれの立場で力を合わせ安全で安心な明るい地域社会を築きましょう!!

H.T.

訃報 上野 吉章 様(西支部)

ご生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます